

農大だより

1年生農家派遣研修 6月13日～21日

6月13日(火)から1週間、1年生の「農家等派遣研修」を行いました。学校では研修前に事前指導があり研修に備えました。派遣先は県央・島原・県北の各振興局管内の農家や農業法人等です。初めての経験で、緊張しながら農業の最前線の状況や農家生活を体感できたと思います。



事前指導の様子



受け入れ式の様子



終了式の様子

2年生北海道研修 7月11～17日

7月11日(火)～7月17日(月)の日程で、2年生が国内研修(北海道研修)に行ってきました。例年であれば、オーストラリア研修を行うところでしたが、円安と燃料高騰の影響により、今年度は国内研修に変更しました。内容は2泊3日のファームステイ、各学科の学習内容に関連する施設の見学や体験を行い、長崎にはない大規模な農業経営や大自然を満喫することができました。また、小樽や札幌市内では自主研修により北海道の歴史や文化に触れ、楽しい思い出を作ってきました。



Boys, be ambitious!



北海道ボールパークFビレッジで



ファームステイ解散式



ファームステイ先での様子



園芸学科の研修先で



畜産学科の研修先で

ホームページにも最新情報満載!!
URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>
E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

農大カレッジ 7月15日～16日

7月15日(土)・16日(日)の1泊2日の日程で、県内の高校生を対象に農大体験カレッジを実施しました。参加者は生徒42名、保護者9名の計51名でした。1日目は、希望する学科・コースに分かれて実習体験を行いました。夜には飛雲寮の食堂で、グループに分かれて農大1年生と交流会を行いました。学生から学校や寮での生活について直接、話を聞くことができ有意義な時間となりました。2日目は農大研修部でトラクターの体験試乗を行いました。大きなトラクターに参加者は興味深々でした。寮生活も体験でき、農大をより深く知ることができる貴重な機会となりました。



野菜コース「収穫後のお楽しみ！」



花きコース「赤ちゃんを抱くように優しく収穫！」



果樹コース「このぶどうは美味そう！」



畜産学科「子牛の力強さに圧倒！」



研修部「農機具を安全に扱うために！」



研修部「大型トラクターは迫力十分！」



寮で1年生と交流「どこから来たの？」



寮で昼食「大盛カレーライス、うまっ！」

発行日 令和5年10月6日 Vol. 2
発行者 長崎県立農業大学校
所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171
TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

九州地区親善体育大会 9月14日～15日

九州地区農業大学校体育大会が9月14日(木)・15日(金)の2日間、熊本県民総合運動公園を中心に九州7県、学生520名、関係職員83名の参加で10競技が行われました。佐賀県は豚熱感染のため急遽、参加が取り止めとなりました。

本校からは8競技に67名の学生が参加し、10名の職員が引率しました。親善体育大会は3年ぶりの開催でしたが、ブランクを感じさせない素晴らしい大会となりました。どの競技も他県との親睦を深めながら、随所に白熱したプレーが見られ、互いを思いやる姿やハツラツとしたプレーは農大生のつながりと心意気を感じられました。いい思い出をありがとうございました。

本校の試合結果 準優勝……バスケットボール、硬式テニス



みんなで記念撮影



随所にいいプレイができました



荒牧先生も飛び入りで参加



野菜コース

稲田 翔太(島原農高卒) 島原市有明町
「ペーパーポット苗を使用したレタス栽培」

レタスではペーパーポットやセルトレイによる育苗が行われていますが、育苗方法の違いが、育苗や本圃での栽培に及ぼす影響について調査しています。



柴田 幸明(島原農高卒) 島原市有明町
「低コスト肥料『レコアップ』を使用したニンジン栽培」

低コスト肥料「レコアップ」とニンジンの専用肥料「らくらく人参」を比較し、収量、品質を調査することで、低コスト肥料のコスト削減効果など、有効性を検討しています。

上島 祐(諫早農高卒) 諫早市川内町
「小玉スイカの立体栽培における仕立て方の違いが、生育、収量および品質に及ぼす影響」
 地這い栽培と比べて、小スペースでの栽培が可能で、軽労化が期待できる立体栽培に取り組んでいます。斜め誘引と垂直誘引による仕立て方を比較することで、生育や収量・品質への影響を調査しています。



鈴木 秀汰(諫早農高卒) 諫早市川内町
「ミニトマト栽培における株間の違いが生育、収量および品質に及ぼす影響」

ミニトマトの2本仕立て慣行栽培の株間は50cm程度であるが、株間35cmの密植栽培と株間65cmの疎植栽培を慣行と比較することで、生育や収量・品質への影響を調査しています。

苑田 泰輝(島原農高卒) 南島原市有家町
「キュウリ栽培における作型や仕立て方の違いが生育、収量および品質に及ぼす影響」

キュウリの1条植えによるつる下ろし栽培と2条植えによる摘心栽培を作型ごとに比較し、生育や収量・品質への影響および経営収支を調査することで、作型に合った仕立て方を検討しています。



谷山 峻(北松農高卒) 佐世保市大湯町

「カブにおける直播きや移植の栽培方法の違いが生育および収量に及ぼす影響」

カブの生育を揃えるため、直播き時に覆土用培土を使用することによる発芽率向上に取り組みました。また、移植栽培と慣行の直播き栽培を比較することで生育や収量の違いを調査しています。



卒論テーマ特集号

～野菜コース・果樹コース・畜産学科編～その2

松尾 優輝(島原農高卒) 南島原市深江町
「ニンジンおよびホウレンソウの溝底播種による栽培が生育や収量に及ぼす影響」

圃場の播種位置に深さ約5cmのV字状の溝を掘り、その底に播種する溝底播種を行いました。慣行の播種方法と比較することで生育や収量への影響を検討していきます。



辻 武史(西彼農高卒) 西海市西彼町

「大玉トマトの自根栽培と接木栽培の比較」

大玉トマトでは一般的に接木栽培が行われているが、自根栽培との違いを明らかにするため、比較試験を行っています。



福田 恭吾(諫早農高卒) 南島原市加津佐町

「良食味ジャガイモ『ながさき黄金』の大玉化試験」

長崎県で開発された「ながさき黄金」の除茎による大玉化試験などを行っています。

果樹コース



大野 春詩琉(諫早農高卒) 諫早市長田町

「梨の収穫時期の違いが品質と鮮度保持に及ぼす影響」

日本梨の早期収穫による品質の違いや収穫後の鮮度保持の検討を行っています。学業や寮生活を楽しみながら頑張っています。

小泉 零士(佐世保実業卒) 東彼杵郡川棚町

「イチジクの括約処理および反射シートのマルチによる品質向上技術の検討」

イチジクに括約処理やタイベックシートを被覆することで、着色に優れた高品質果実づくりを目指して取り組んでいます。将来の進路に役立つよう頑張っています。



松尾 隼人(長崎玉成高卒) 長崎市鳴滝

「マンゴーの大玉生産のための効果的受粉方法の検討」

「高品質で大玉のマンゴーを安定生産できるように効果的な虫媒受粉ができるようプロジェクトに取り組んでいます。

森 晃翔(島原農高卒) 島原市有明町

「『シャインマスカット』の房整形方法の違いが房重と果実品質に及ぼす影響」

「シャインマスカットの房やコンパクトな房づくりのプロジェクトに取り組んでいます。品質や重量などを明らかにして就農後のブドウ栽培に役立てられるよう頑張りたいです。



畜産学科

大島 裕斗(小浜高卒) 雲仙市愛野町

「簡易ビタミンA測定器を活用した黒毛和種肥育牛のビタミンAコントロール」

肥育牛のビタミンAコントロールは、外貌や活力を参考に経験によって行われているが、事故発生等のリスクを伴う。そこで、畜産研究部門が開発した簡易ビタミンA測定器で血中ビタミンA濃度を測定してもらい、その結果を活用し、質量兼備の肥育牛出荷を目指しています。



喜々津 匠(波佐見高卒) 東彼杵郡川棚町

「ハエがもたらす黒毛和種肥育牛への影響」

ハエは人間が飼養管理するうえで煩わしい存在であるとともに、肥育牛にもストレス等の影響を与えます。様々なハエ対策を試行し、農大で効果的な対策を模索するとともに、ハエ対策を行うことによる肥育牛の増体等へ及ぼす影響について調査しています。



永井 志空(北松農高卒) 平戸市大島村

「理想の後継雌牛を目指した和牛飼養管理」

昨年度までの鹿児島全共に向けた雌牛育成飼養管理のノウハウを活かし、いま後継候補として保留している雌牛で、体躯のバランスが良く安全に飼える牛づくりに取り組んでいます。



松田 緋万里(北松農高卒) 佐世保市鹿町町

「和牛繁殖の昼間分娩誘起法と分娩成績の関係について」

昼間に分娩を誘起することにより、立会いが容易になり分娩事故の防止になるメリットがあります。そこで、農大での管理に合った昼間分娩誘起法を確立するために、飼料給与内容や給与時間などの検討を行っています。



～農大入学試験の案内～

出願資格 高等学校を令和6年3月卒業見込の者。
 又は、これと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。年齢制限はありません。

1次募集

出願期間 令和5年10月27日(金)～11月17日(金)

試験日時 令和5年12月1日(金) 9:00～15:00

試験科目 (必須) 国語総合、数学I

(選択) 生物基礎、化学基礎、農業から1科目

※農業は、園芸、畜産 どちらか選択

集団討論、個人面接

2次募集

※充足次第では実施しない場合もあります。

出願期間 令和6年2月7日(水)～2月21日(水)

試験日時 令和6年3月5日(火) 9:00～15:00

試験科目 (必須) 小論文(800字程度)、数学I

集団討論、個人面接